

第12回日本応用老年学会 基調講演 シンポジウム企画

基調講演

テーマ：「高齢社会における当事者主体の研究とは」

時間：10：00～11：00 司会：芳賀博（桜美林大学大学院老年学研究科 教授）

講演者：安梅勅江（筑波大学大学院医学医療系 教授）

シンポジウムⅠ.

「ICTを活用した転倒予防の可能性」

時間：13：20～15：00

司会：植木章三（大阪体育大学教育学部 教授）

藤原佳典（東京都健康長寿医療センター研究所
社会参加と地域保健研究チーム 研究部長）

- ・スマートフォンを活用した高齢者の転倒予防の研究概要
(小川晃子 岩手県立大学社会福祉学部 教授)
- ・スマートフォンを活用した転倒予防体操の実践
(植木章三 大阪体育大学教育学部 教授)
- ・スマートフォンを活用した転倒予防体操の効果～統計的視点から～
(上出直人 北里大学医療衛生学部 講師)
- ・スマートフォンを活用した転倒予防体操の効果～当事者の視点から～
(小川晃子 岩手県立大学社会福祉学部 教授)
- ・スマートフォンを活用した転倒検知システムの開発
(萩野浩明 株式会社NTTドコモ
ソリューションサービス部
ソリューション・デザイン 第二担当)

シンポジウムⅡ.

「当事者主体の認知症ケアに向けて～町田市取り組み～」

時間：15：10～16：40

司会：長田久雄（桜美林大学大学院老年学研究科 教授）

佐藤美由紀（神奈川工科大学看護学部 准教授）

- ・町田市における認知症にやさしい地域づくり（古川歌子 町田市高齢者福祉課 係長）
- ・認知症友の会の実践（井上美恵子 町田市認知症友の会 会長）
- ・認知症カフェの実践（安達聡子 町田市陽だまりカフェ 代表）

※プログラム内容は変更になる場合があります。ご了承ください。